

CHIBA CANCER CENTER NEWS

千葉県がんセンターニュース



巻頭言

卒後感謝(サンキュー・39)年を迎えて

副病院長 **米本 司**



この度、令和8年4月付で千葉県がんセンター副病院長を拝命いたしました。私が医学部を卒業したのは39年も前のことで、今年は卒後感謝(サンキュー・39)年になります。年月が経つのは早いものです。この節目にこれまでを振り返りながら、ご挨拶申し上げます。

私が医師になって初めて学んだことは、人にはそれぞれ違った価値観があるということでした。医師になって間もない頃に、患者さんに理不尽な要求をされ、憤りを覚えたことがありました。その時に先輩の医師から「患者さんに腹を立てるのはやめなさい。人には色々な価値観があるのだから、その人の価値観で考えてあげることができれば腹は立たないよ。」と言われたことを今でも覚えています。それまでの私は自分の価値観が正当で標準的だと考えていました。しかし、多くの患者さんと出会うことによって、人の価値観は極めて多様であることを知りました。経験の浅い若い医師の価値観など、世の中の価値観の中ではごく限られたものに過ぎないことを思い知らされました。それ以来、価値観の異なる人の話にも耳を傾けられるようになりましたし、診療中に感情的になることもなくなりました。これを契機に、医師はあらゆる価値観に対応できるよう、懐を広げる努力が必要だと考えるようになりました。あの一言が、今も私の診療の根幹を支えています。

話は変わりますが、「オシムの言葉」という本をご存知でしょうか。2022年にお亡くなりになった元サッカー日本代表監督の故イビチャ・オシム氏の言葉や人物像をまとめた一冊です。「考えて走るサッカー」や「日本サッカーを日本化する」が有名ですが、オシム氏の言葉には、重みがあり心に響くものばかりです。この本はオシム氏の言葉を単に羅列するだけでなく、サッカー指導者としての信念や人生観も描き出しています。その指導法の根幹には、人間の尊厳を大切に



故イビチャ・オシム氏との一枚

し、選手を一人の人として尊重する姿勢が見られます。私にとって、オシム氏は尊敬する指導者の一人です。オシム氏と撮った写真を見ると、天国からオシム氏が「悔いなく人生を走っているか」と語りかけてくれているような気がして、私の励みとなっています。

これまで無事に仕事ができていることに感謝し、これからも患者さんの多様な価値観に対応し、その尊厳を大切に、診療していきたいと思えます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



消化器内科部長に就任して

消化器内科部長 中村 和貴 医師



このたび千葉県がんセンター消化器内科部長を拝命し、身の引き締まる思いであります。これまでの経験を生かし、患者さん一人ひとりに寄り添いながら、切れ目のない質の高いがん治療を提供することに尽力してまいります。

当科では、食道・胃・大腸などの消化管がんから肝・胆・膵がんに至るまで、幅広い消化器がんに対する薬物療法を専門としています。標準治療に加え、患者さんの状態や腫瘍の特

性に応じた最適な治療選択を行い、治療の継続性と生活の質の両立を目指します。

さらに、胆・膵がんに対してはステント治療を含む内視鏡治療や精度の高い内視鏡診断にも積極的に取り組み、迅速かつ適切な治療導入を可能にしています。またがん遺伝子パネル検査を活用した治療を推進するとともに、新規治療の選択肢を広げるため治験にも積極的に取り組んでおります。

地域のがん医療の発展に貢献できるよう努力を重ねてまいりますので、今度ともご指導ご支援のほどよろしくお願いいたします。

婦人科部長に就任して

婦人科部長 碓井 宏和 医師



2026年4月に婦人科部長を拝命しました碓井宏和です。千葉大学産婦人科で20年間、婦人科腫瘍診療に従事した後、2025年4月より当院に勤務しております。

当院は日本婦人科腫瘍学会指定修練施設のA施設であり、腫瘍専門医2名を含む6名の常勤医が、放射線治療・病理部門と協働しながら、子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がんを中心とした婦人科腫瘍診療を担当しております。千葉市近郊では数少ない婦人科腫瘍専門施設として、手術・薬物療法・放射線治療の3本柱を軸に、低侵襲手術や新規抗がん薬の迅速な導入にも取り組んでまいります。

他診療科・多職種のスタッフとともに「個々の患者さんにとっての最善を目指す」を共通目標とし、部長として潤滑油の役割を果たしながら、チームが円滑に機能するようマネジメントに取り組んでまいります。近年増加する婦人科がんに対し、

地域の方々が必要な治療をタイムリーに受けられる体制を維持・発展させることが県立病院としての使命と認識しております。敷居の低い、受診しやすい診療科を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



呼吸器内科部長に就任して

呼吸器内科部長 芦沼 宏典 医師

2026年4月に呼吸器内科部長に就任いたしました、芦沼宏典です。2012年4月に当院へ赴任した当時は、呼吸器外科と合同で「呼吸器科」として診療を行っていましたが、2014年に呼吸器内科として独立し、このたび3代目の部長を務めることとなりました。

当科では主に切除不能肺がんの診療を行っておりますが、近年、薬物治療は大きく進歩し、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の登場により、長期生存が期待できる時代となりました。当科では、気管支鏡検査に加え、院内他科と連携し転移部位からも適切に検体を採取することで、遺伝子検査やPD-L1 検査を実施し、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供してまいりました。今後もこれらの取り組みを継続するとともに、新たな治療法の開発にも積極的に取り組んでまいります。

また、肺がんは高齢の方に多くみられ、併存疾患を持つ患者さんも増えています。地域の医療機関やかかりつけ医の先生方と連携しながら、安心して治療を受けていただける体制づくりに努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



輸血療法部長に就任して

輸血療法部長 早田 浩明 医師

4月に輸血療法部長に就任しました早田浩明です。私は1987年千葉大医学部卒業、同大第一外科に入局後、国立がんセンター東病院のレジデントなどを経験し、1998年から当院に消化器外科医として就職しました。35年以上外科畑を歩み輸血療法部と関連が薄いかも知れませんが、当院就職時は大学からの継続研究のがん免疫療法で患者さんの白血球採取のため、輸血室には大変お世話になりました。そんなご縁もあり今回輸血療法部長を拝命しました。

当院は1972年の開院時から、薬剤部と臨床検査部が協力し、一元管理での輸血業務を行ってきており、1998年輸血療法科を開設、2017年輸血療法部として独立、2021年日本輸血・細胞治療学会のI&A認定、2022年には臨床検査部、臨床病理部、遺伝子診療科と協力し国際規格ISO15189の認定を受けました。また日本輸血・細胞治療学会の輸血認定医、認定臨床輸血看護師、認定輸血検査技師の指定施設でもあります。今後も輸血療法の未来を支える人材の育成と安全で質の高い輸血医療の提供ができるよう努力していきます。



がん予防センター部長に就任して

研究所 がん予防センター部長 道端 伸明 医師

本年4月より、がん予防センター部長に就任しました道端伸明です。私は臨床疫学を専門とし様々な臨床研究に取り組んでまいりました。就任のご挨拶を兼ねて、当研究部の研究活動をご紹介します。

がん予防センターには3つの研究部門があります。予防疫学研究部では、千葉県における全国がん登録事業を通じてがん罹患情報の収集・公表・利活用に取り組むほか、日本多施設共同コーホート(J-MICC)研究に参加し生活習慣とがんリスクの関係を継続的に解析しています。さらに入院診療報酬請求データ等の医療ビッグデータを駆使したリアルワールド研究や、病院の医療従事者への臨床研究支援も行っています。精密腫瘍モデル研究室では、従来の平面培養とは異なる三次元オルガノイド培養を用いて悪性腫瘍の基礎および橋渡し研究を展開しています。臨床腫瘍生物学研究室では、がんの効果のある化合物の探索や遺伝的素因の解明に情熱をもって取り組んでいます。

私たちの研究が、未来の誰かを救う一助になることを願いながら、スタッフ一同全力で取り組んでまいります。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

地域医療連携室だより

がん相談支援センターのご案内

がんになったら、まず相談！ でも、相談だけじゃない！

がん相談支援センター
中村 晃子

として複数名でお話を伺います。経験者の言葉は何よりの情報となり、似た境遇の方同士が「自分だけじゃない」と感じられる大切な機会です。なお、婦人科交流会を除き、ご家族の参加も歓迎しています。

参加や相談をご希望の方は、がん相談支援センター(電話:043-264-6801)へお気軽にお問い合わせください。



がんに関する様々な相談ができる『がん相談支援センター』が、がん治療をしている多くの病院に設置されており、千葉県がんセンターにも開設されています。

「がん」という衝撃的な病名を告げられると、疑いが生じた瞬間から、患者さんとご家族は不安に包まれます。特に、診断前から治療開始前にかけての先の見えない不安は、経験した方でないとうわかない辛さです。そのようなときに、病気や治療に関する正確な情報を得たり、治療病院を選ぶ際の考え方を整理したりするお手伝いをするのが、がん相談支援センターです。

近年は情報があふれ、スマートフォンで手軽に調べられるようになりました。しかし、その情報が正確か、最新かを見極めるには専門的な知識が必要です。当センターの相談員は情報支援などに関する研修を修了しており、患者

さんやご家族はもちろん、がんが心配な方のご相談にも幅広く対応しています。面談と電話相談に加え、予約制のオンライン相談もご利用いただけます。

また、がん相談支援センターでは、患者さん同士が気持ちを分かち合える場の運営も行っています。仲間同士の支え合いを『ピア・サポート』と呼び、当院では3つの形で提供しています。

一つ目は、病院2階にある『なかまのへや』です。当院で治療経験した患者さんを中心に、週3日程度、1対1でじっくりお話しいただけます。

二つ目は『交流会』で、がん種を問わない会・乳がん・婦人科がん・悪性リンパ腫の計4種類の会があります。2～3か月毎に、10名以下の小グループで輪になって語り合います。

三つ目は『ピア・サポーターズサロンちば』で、千葉県が養成したがん経験者が、千葉県がんピア・サポーター

重篤な有害事象(SAE)について

治験では、新しい医薬品の有効性だけでなく、安全性の確認が非常に重要です。

治験薬との因果関係の有無を問わず、治験中に起こるあらゆる好ましくない事象を「有害事象(AE)」といい、発生した場合は患者さんの安全性の確保に努めます。

その中でも、入院を必要としたり、生命に関わる可能性がある

治験臨床試験推進部 部長 三梨 桂子

有害事象は、「重篤な有害事象(SAE)」として扱われ、速やかに治験依頼者や病院長への報告が必要です。

当院でも、治験患者さんにSAEが発生した場合は、速やかな報告と治験審査委員会(治験の安全性などを審査する委員会)で該当治験を継続してよいかを審議し、患者さんの安全性を第一に治験を遂行しています。

治験
アップデート
UPDATE

当センターでは以下の治験を実施しています

治験臨床研究センターでは募集中の治験等の情報を提供しています。概要は以下のとおりですが、詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kanja/chiken/jissijoukyou.html>



現在募集中の治験情報 R8/3月末時点での募集中試験数は39件

①食道がん	2件	④前立腺がん	5件	⑦多発性骨髄腫	2件	⑩膵臓癌	2件
②胃がん	1件	⑤乳がん	9件	⑧非小細胞肺癌	2件	⑪頭頸部癌	2件
③大腸がん	6件	⑥リンパ腫	6件	⑨胆道癌	2件		



看護の現場から

高度ながん医療を支える

病床マネジメント体制の構築

～ベッドコントロールセンターを開設しました！～

患者総合支援センター 看護師長 吉田香保里
地域医療連携室 看護師長 武田 英樹

2026年2月に稼働を開始したベッドコントロールセンターは、がん専門病院として、患者さんが最適なタイミングで安全かつ確実に望まれるがん医療を受けられるよう、病床の一元的な調整を担う部門です。がん医療の高度化・専門化が進む中、適切な時期に適切な医療資源へつなぐ体制の重要性は高まっており、本センターはその中核を担っています。手術・化学療法・放射線治療など専門性の高い治療に対応する予定入院については、各診療科と密接に連携し、治療計画に即した円滑な受け入れ体制を整えています。

また、緊急入院においても、病棟や診療科と連携し迅速

に対応することで、患者さんの状態に応じた適切な病床を確保し、治療の継続性と安全性の確保に努めています。これにより、ご紹介いただいた患者さんが待機期間を最小限に抑えながら、最適な時期に適切ながん治療へとつながる体制を構築しています。

さらに、個室や多床室のご希望にも可能な限り対応し、診療科の枠にとらわれない柔軟な病床調整を行っています。今後も、多様な病態や背景を持つ患者さんに対応するとともに、地域の医療機関の皆様との連携を一層強化し、安心してご紹介いただける質の高いがん医療の提供に努めてまいります。



初診担当医表

*当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとりください。
*初めて受診なされる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ちください。

診療科	月	火	水	木	金
肝胆脾外科	岩立 陽祐	賀川 真吾	加藤 厚 石毛 文隆	柳橋 浩男	有光 秀仁
ハイパーサーミア	千葉 聡	千葉 聡			千葉 聡
食道・胃腸外科	加野 将之 外岡 亨 天海 博之	早田 浩明 外岡 亨 天海 博之 【第1・3・5】 平澤壮一郎 【第2・4】 鍋谷 圭宏	加野 将之 早田 浩明	加野 将之 成島 桑山 一夫 直樹	加野 将之 平澤壮一郎
消化器内科	傳田 忠道 三梨 桂子 喜多絵美里	傳田 忠道 須藤研太郎 天沼 裕介	三梨 桂子 中村 和貴 喜多絵美里 古賀 邦林	傳田 忠道 三梨 桂子 武内 良久	須藤研太郎 中村 和貴 天沼 裕介 古賀 邦林
内視鏡科	鈴木 拓人 箕輪真寿美	杉田 統	石垣 飛鳥	徳長 鎮	北川 善康
呼吸器外科	坂入 祐一		岩田 剛和 坂入 祐一		岩田 剛和
呼吸器内科	芦沼 宏典 水野 里子	芦沼 宏典 齋藤 幹人 丸山 香苗		水野 里子 齋藤 幹人 丸山 香苗	芦沼 宏典
乳腺外科	中村 力也 山田 英幸	羽山 晶子	羽山 晶子 山田 英幸 吉村 悟志	羽山 晶子 山本 寛人	山田 英幸 手嶋 大清
形成外科				徳元 秀樹	徳元 秀樹
婦人科	碓井 宏和 糸井 瑞恵 中嶋 太郎 東 真理恵	碓井 宏和 【第1・3・4・5】 鈴鹿 清美	糸井 瑞恵 【第3・4・5】 田中 尚武	碓井 宏和 糸井 瑞恵 東 真理恵	中嶋 太郎 田中 尚武
泌尿器科	小丸 淳 新納 潤 山崎賢太郎 高木 柚里	米田 慧	新納 潤 根本 卓実	米田 慧 加藤 朱門	小林 将行 山崎賢太郎 池原 哲郎
腫瘍血液内科	武内 正博 真子 千華 柴宮明日香	辻村 秀樹 菅原 武明 三科 達三	菅原 武明 依田 夏美	真子 千華 三科 達三	武内 正博 辻村 秀樹
脳神経外科	井内 俊彦 堺田 司	(担当医)	井内 俊彦 長谷川祐三	(担当医)	堺田 司 長谷川祐三
頭頸科	(担当医)	木下 崇 三田 恭義 宮田 卓		木下 崇 三田 恭義 宮田 卓	
整形外科	米本 司 鴨田 博人 木下 英幸	鴨田 博人 萩原 洋子		米本 司	米本 司 萩原 洋子 木下 英幸
緩和医療科	坂下 美彦		坂下 美彦		坂下 美彦
核医学診療部			久山 順平	久山 順平	



初診・再診予約(患者予約)
月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
☎043-263-4071

予約変更(患者予約)
月曜日～金曜日 午後1時～午後4時
☎043-263-4071

医療機関からの直接予約
月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
☎043-264-5633

ACCESS 交通のご案内



JR 千葉駅から 所要時間：約25分

京成バス千葉イースト：誉田駅、鎌取駅、大宮団地
(星久喜台経由) 行乗車・千葉県がんセンター前下車



JR 鎌取駅から 所要時間：約13分

京成バス千葉イースト：千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車



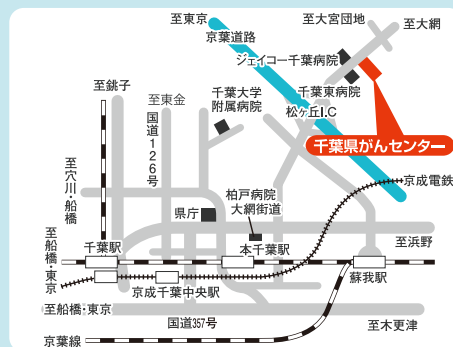
JR 蘇我駅から 所要時間：約16分

京成バス千葉イースト：鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車



松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向って約2km 右側



千葉県がんセンターホームページ
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>

千葉県がんセンターは、厚生労働省が指定した都道府県がん診療連携拠点病院です。また、がんゲノム医療拠点病院、小児がん連携病院の指定も受けており、高度先進的な医療、安全で最適な医療をみなさまに提供いたします。



インスタ用



X



(発行) 千葉県がんセンター
〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680